

中部支部 発刊図書を紹介
『幻の都市計画 残しておきたい構想案』



都市計画中部支部では、この度、支部設立 15 周年誌『幻の都市計画～残しておきたい構想案～』（樹林舎）を発刊致しました。歴史的に意義深い未完の都市計画・構想を編纂しており、中部圏のまちづくり、プロジェクトの歴史を知る貴重な資料となっておりますので、書店等でお求めいただき、ご覧いただければ幸いです。

企画の趣旨について

中部支部では、5 周年には、「まちづくり 21 世紀への挑戦 中部の都市計画 歴史と展望」を、10 周年には「中部地方の市民参加型まちづくり行政のプラットフォームを求めて」の発行をそれぞれ行っています。15 周年では、近年、地域からの情報発信が求められるなかで都市計画の研究者・実務者の提案力が問われているという認識を踏まえ、先人の構想力や着想力を学び紹介する目的で企画がなされました。

集められた構想・計画

平成 16 年度より、支部幹事会に、瀬口哲夫先生（名古屋市立大学）をヘッドに、ワーキングチームを組織し、収集された 50 のプロジェクトが編纂されています。調査にあたっては、文献調査とともに、自治体の企画・都市計画・建築担当部局へのヒアリング、行政OBへのヒアリングなどによって集められた構想・提案は、コンセプト的なものから都市計画事業まで幅広く、提案主体も国、自治体だけでなく、大学、財界、企業等と多岐に渡っておりますが、時代を代表するような構想・計画、これまで紹介されていないような、まさしく幻の都市計画も含まれ、興味深い内容になっています。

【目次】

実現されない計画の意義/竹内伝史

戦後の時代変遷と求められたビジョン/瀬口哲夫

座談会 未完の計画に託された思想を語る 加藤 晃/紺野 昭/瀬口哲夫

I. 中部圏の新しい姿を描いた「グランドプラン」

ワイズマン・レポート -中部圏の開発構想の礎を築く(1964 年) 吉村輝彦

名古屋市将来計画・基本計画(1968 年) 林 清隆

栄東地区町づくり運動とその構想計画(1962~75 年) 佐藤圭二

小牧・春日井地区開発基本計画(1963 年) 磯部友彦

豊橋・浜松二眼レフ構想(1965 年) 戸田敏行

東三河地域総合開発提案(1961~67 年) 戸田敏行

中南勢地域開発構想(1963 年) 浦山益郎

加越能鉄道富山高岡線(1952~59 年) 天野智順

四日市公害対策マスタープラン(1966 年) 波多野憲男

コラム 1 全国総合開発計画と中部圏のあゆみ 和泉 潤

コラム 2 名古屋グリーンベルト構想の夢(1955 年) 瀬口哲夫

II.高度成長期の市街地再開発提案

名古屋駅西地区市街地再開発事業基本計画(1974年) 藤森幹人
浜松千歳地区再開発構想(1970年) 大澤 稔
歩行者中心の緑の通りへ(1974年)-「広小路サントピア構想」瀬口哲夫
コラム 中部圏三大ニュータウン 鶴田佳子

III.大規模事業の礎となった提案・構想

「三重県水郷県立公園開発計画」(1965年) 浅野聡、松浦健治郎
国際貨物空港構想(1969~70) 永柳 宏
コラム 1 名古屋「オリンピック構想」(1979年) 福島 茂
コラム 2 中部国際空港計画に関する雑感 三輪哲夫

IV.地方定住時代の「人間性回復のための」都市提案

県庁舎建替え問題から『福井づくり論』へ(1975年) 桜井康宏
大須商店街への提案(1978年・1981年・1992年) 瀬口哲夫
コラム 1 ノリタケドーム(1979年) -全天候球場建設構想- 伊豆原浩二
非戦災城下町のまちづくり構想(1986年) -西尾地域商業近代化計画- 瀬口哲夫
コラム 2 東三河地域モデル定住圏(1980年) 永柳 宏

V. 21世紀に向けての大規模プロジェクト

名古屋の都市的な特徴を際立たせた、名古屋遷都論(1987年) 瀬口 哲夫、永柳 宏
瀬戸市南東部地区新住宅市街地整備事業(1998年) 谷口庄一、永柳 宏

VI.コンパクトシティの実現に向けた都市提案

白鳥計画(1989年) -アレグザンダーによる低層高密住環境アイランド計画- 松山 明
岐阜駅西地区再開発事業(1988年) 秋山孝正、田中尚人
静岡県音楽公園計画(1987年) 谷 武
コラム 都市計画・開発コンペにみる提案の力(1999年) 財団法人名古屋都市センター

編者	社団法人 日本都市計画学会中部支部
発行所	樹林社(電話番号 052-801-3144)
定価	2,500円+税